

令和3年9月27日

第2学年保護者各位

茨城県立笠間高等学校長 小室 浩之

第2学年主任 蒲生 友紀子

修学旅行の中止について

秋晴の候 保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご協力・ご支援いただきありがとうございます。

さて、先日は「修学旅行実施に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございました。アンケートの結果から、半数以上の保護者の方から「中止すべきである」との意見をいただきました。詳細につきましては、裏面をご覧ください。

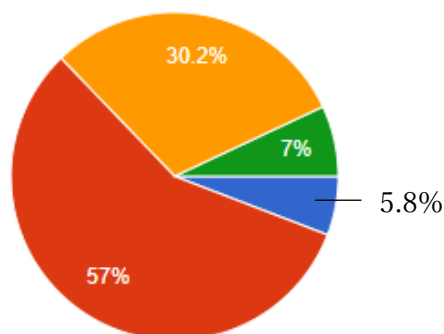
9月下旬現在、各都道府県において、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は減少傾向ではありますが、今後の感染拡大や感染力が高いとされる変異株の動向、高校生へのワクチン接種の状況など先行きが不透明な点が多く、感染予防に可能な限り配慮したとしても、なお高いリスクが残ると考えられます。これらのことを踏まえ、慎重に協議・検討した結果、本校としても「中止」せざるを得ないと判断いたしました。修学旅行を心待ちにしていた生徒たちのことを思うと心苦しい限りですが、保護者の皆様には、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

10月初めには JTB の担当者から積み立て金の返金や旅行企画料の納付等についての案内文書をお渡しする予定となっておりますので、確認および手続きをお願いいたします。

今後、修学旅行という形態で代替案を計画することはいたしません。生徒の思いを鑑み、安全面に配慮した行事を検討・運営していくほか、次年度の進路に向けて進めて参ります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

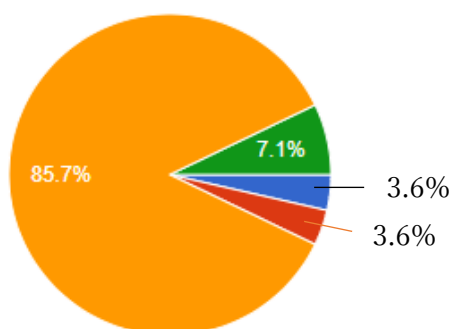
令和3年度修学旅行にかかる保護者アンケート結果（9月1日郵送、回答86件）

○ご回答いただいている時点での修学旅行の実施について



- ・実施すべき（5.8%）
- ・中止すべき（57%）
- ・様子を見るべき（30.2%）
- ・その他（7%）

○上記の質問で「様子を見るべき」とご回答された方は、判断する期限はいつとお考えですか。



- ・9月中旬（3.6%）
- ・9月末日（3.6%）
- ・キャンセル料が発生する直前（10月24日以降はキャンセル料が発生します）（85.7%）
- ・実施直前（11月13日出発予定）（7.1%）

○上記の質問で「様子を見るべき」とご回答された方は、判断する基準はどのようにお考えですか。

- ・感染者数（20）
- ・万が一、感染した場合を考えたらずその時に入院や治療体勢が整えられているか？も実施するうえでの判断材料に考慮すべき。
- ・生徒のワクチン接種状況（9）
- ・緊急事態宣言の解除（3）

○質問項目に拘らずご意見等ございましたら自由に記述をお願いします

- ・今の世間の現状と、本人自身も不安を抱えている中で、親としては行かせてあげられないです。（11）
- ・ワクチン接種してもコロナにかからない訳ではない。（3）
- ・飛行機・移動距離の時短。移動距離の少ない近場バス移動できる場所に変更希望。（8）
- ・状況が改善されないようであれば、半年位の延期もやむを得ないのではないのか（5）
- ・中止した場合にかかる費用負担はどうなりますか？（5）
- ・状況が許すなら、なるべく行かせてあげたい（3）
- ・できればワクチン接種希望者が接種を完了するタイミングで行けるのがベストだと思います。（10）

その他、学校へのご意見も多数頂戴し、今回の判断の参考とさせて頂きました。ありがとうございました。